



令和2年度 水道イノベーション賞 特別賞

小規模水道事業の広域連携と官民連携
－管理の共同化－

木古内町建設水道課・知内町建設水道課

2021.12.1



北海道 きこない
木古内町

まちの概要



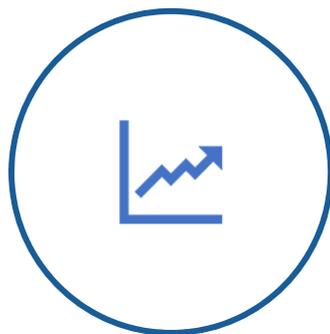
- ・人口約3,800人（2021年9月現在）
- ・2016年3月 北海道新幹線 木古内駅開業（東京→4時間）
- ・2022年3月 高規格幹線道路 函館江差自動車道木古内IC開通予定（函館空港→35分）



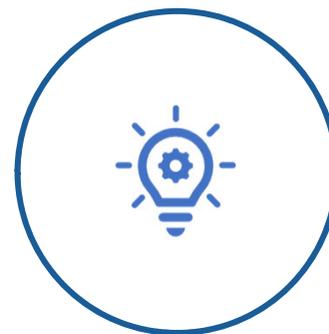
メニュー



事業運営の問題



解決の方向性



具体策

1. 事業運営の問題

1

ヒト：職員の減少 → 業務の属人化

2

モノ：水道施設の老朽化 → 漏水事故多発

3

カネ：財政状況の悪化 → 更新財源の不足

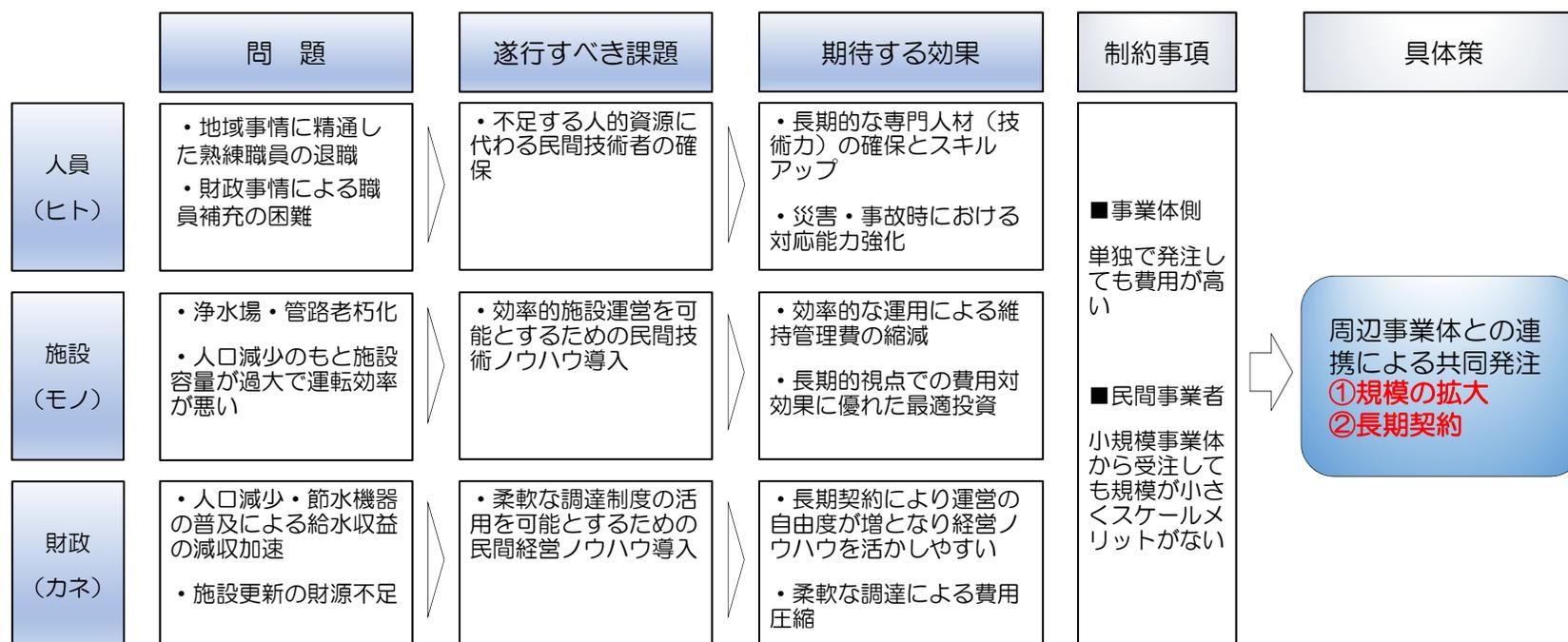


2. 解決の方向性

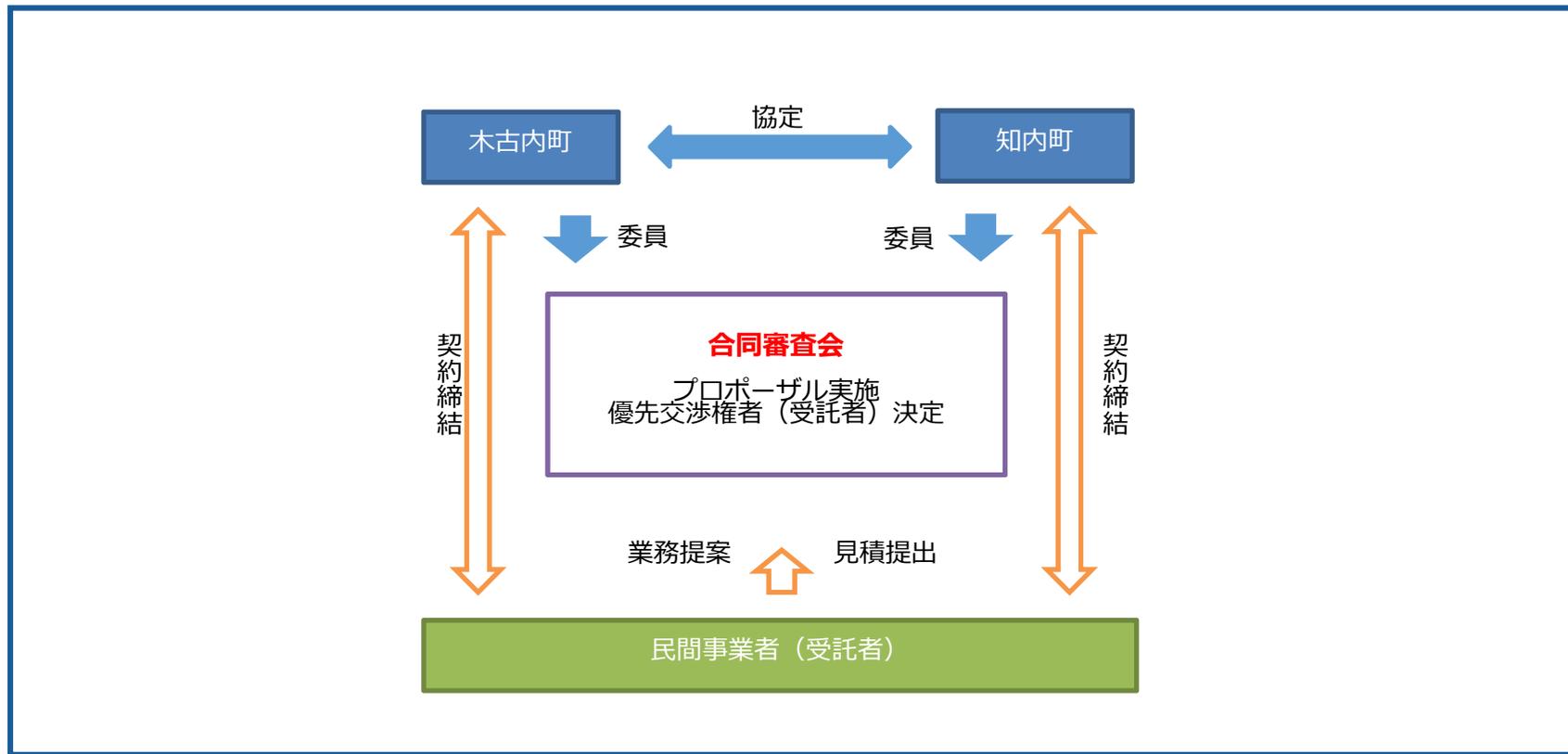


- ① 2町の給水区域が平地で隣接 → 民間事業者の視点では1つの給水区域に考えることができる
- ② 他事業との連携 → 下水道事業との連携でさらに規模を拡大

3. 具体策



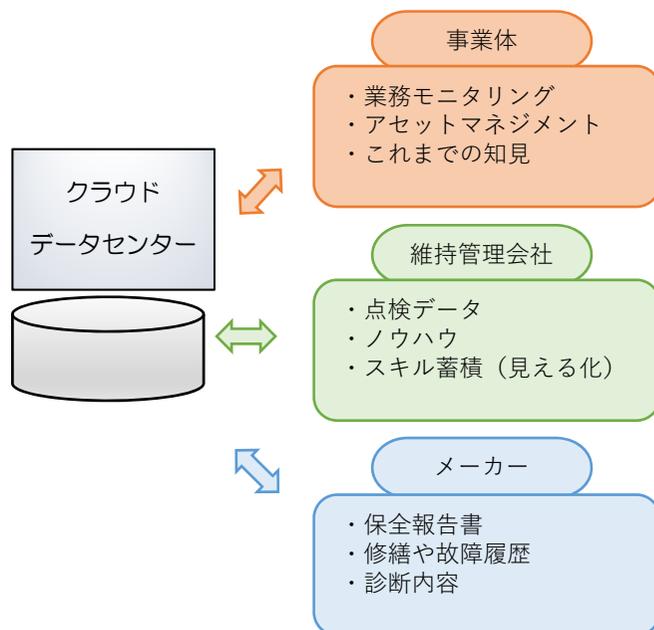
契約手法



※合同審査会により同一の民間事業者を選定し契約は個別に行う

ICTの活用

■広域遠方監視装置



(1) 現場の技術継承創出

- ① ノウハウの記録
- ② 可視化・電子化

(2) 設備投資の最適化

- ① 機器状態の過去履歴を蓄積
- ② 最適な更新計画の作成・実施、長寿命化

(3) 情報の共有

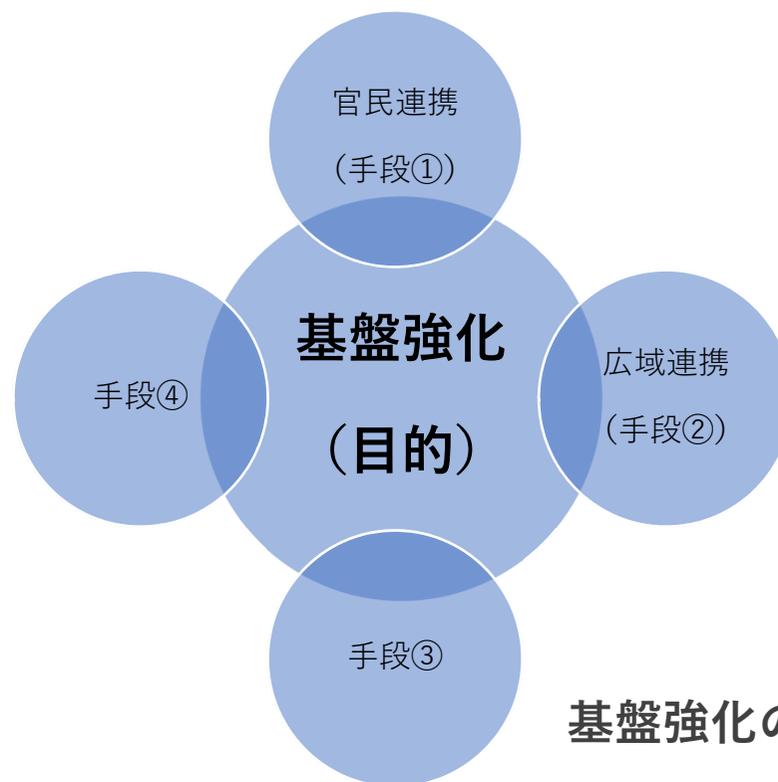
- ① ドキュメント・スケジュール管理
- ② 掲示板・電子会議室

(4) 災害時への備え

- ① 設備・技術情報を広域で共有
- ② 連携・迅速な復旧への基礎情報

📍 水道に携わる関係者が情報やノウハウを共有し安定供給を目指す

広域連携や官民連携そのものが**目的**ではない



基盤強化のための**手段**であること

ご清聴ありがとうございました

